

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2018. 8. 24◆◆◆

\*\*\*\*\*

【四国地方整備局 企画部長 野崎 智文】

四国地方整備局企画部長の野崎です。

西日本を中心に大きな被害を出した平成30年7月豪雨から約1か月半が経過し、応急対応の段階から、復旧・復興の段階に移りつつあります。今日は、四国地方整備局の平成30年7月豪雨への対応状況等について紹介させていただきたいと存じます。

今般豪雨によって、西日本を中心とした各地で甚大な被害が発生しました。大雨特別警報が、運用以来最多となる全国11府県、四国でも愛媛県と高知県に発令され、両県を中心に四国全域において浸水、土砂災害により多くの被害が発生しました。

浸水被害としては、西予市野村町、大洲市菅田地区、同東大洲地区等において大規模な浸水が生じ、土砂災害も宇和島市吉田町で集中的に発生したのをはじめ、高知・徳島両県で多数発生しました。

幹線道路の被害としては、高知自動車道の大豊町立川における大規模崩落のために橋梁上部工が流失、宇和島市の国道56号においては、複数の法面崩落等によって通行止めが生じたところです。

この災害に対して、四国地方整備局では、被災した所管施設の応急対策にあたる一方で、豪雨が警戒された段階で、管内2県16市町村にリエゾンを派遣、それぞれの自治体の状況や支援要請などの伝達にあたりました。

また、排水ポンプ車について、直轄管理河川に配備するとともに、市町へもTEC-FORCEの一環として派遣しました。

被害発生後には、TEC-FORCE隊員による被災状況調査を開始しました。今回の大規模な被災に対して、関東・中部・近畿・九州の各地方整備局と北海道開発局、沖縄総合事務局から支援班が順次到着し、最大で1日191名、のべ3千人・日を超える隊員が、被災状況の調査や応急対策等にあたりました。被災状況調査では、被災後迅速に隊員が現地に入り、砂防・河川・道路に関する被災現場の特定と被災状況の調査・記録を行い、その後の災害復旧を支える資料を自治体に提供したところです。

また、応急対策では、ポンプ車や照明車といった災害対策機械のほか、被災後の道路・側溝の清掃、断水に対する生活用水の支援のため、路面清掃車、側溝清掃車、散水車なども多数派遣しました。

現在、特に被害が甚大であった大洲・西予・宇和島の3市において、円滑な復旧・復興を支援するべく、大洲を拠点に「南予被災地支援チーム」が活動しております。

一方で、被災地においては、地域の建設業の方々が、県等との協定に基づく障害物の除去等にあたられたほか、自治体との協定に基づく土砂撤去などの活動を行い、危機的状況にある地域を支えられたことも忘れることはできません。

地方整備局としては、今後災害復旧において所要の体制が確保できるよう、迅速な契約手続きを含む入札契約の面でのガイドライン等をお知らせさせていただいている

ところです。

今般の災害では、多くの観測点で期間雨量が従来の最大観測値を越えるレベルの豪雨であったことから、大きな被害を生じました。

近年の豪雨の傾向に鑑みると、今まで被害がなかったという経験が通用しないレベルの災害は今後とも発生頻度を増すと考えられます。

被災地の一日も早い復旧・復興に加え、強靱な地域・国土を支える社会基盤の整備、それを担い災害時に地域を守り通す建設業界の存続・発展など、平時・非常時を通じて重要な事項を推進してまいりたいと存じます。

\*\*\*\*\*

## 目次

- 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会を開催します
- 四国八十八景 第二期が決定されました
- 命の道「四国8の字ネットワーク」進捗中
- 一般国道11号 大内白鳥バイパス（東かがわ市西村～松崎）開通

\*\*\*\*\*

## 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会を開催します

【 企画部 企画課 】

四国地方整備局では、四国の社会資本整備に係る課題等の調査・研究成果を発表し、意見交換することで技術力の向上や行政への反映を行うことを目的として、「平成30年度四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」を10月2日、3日に開催します。

（例年、研究発表会は7月に開催しておりましたが、平成30年7月豪雨災害の発生に伴い、開催を延期させていただいたものです。）

優秀な研究発表は、国土交通本省で開催される国土技術研究会へ推薦する予定です。研究発表会は、一般公開で行いますので、ご参加いただければ幸いです。

詳細は四国地方整備局のホームページにも掲載しています。皆様ぜひご来場下さい。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/kenkyu/>

1. 日時：10月2日（火） 8：55～17：10  
10月3日（水） 8：55～16：40

2. 場所：高松サンポート合同庁舎 第1会場：アイホール  
第2会場：南館101大会議室

\*\*\*\*\*

## 四国八十八景 第二期が決定されました

【 企画部 広域計画課 】



催で開通式典を執り行い、国会議員、香川県知事、東かがわ市長など、約100名の方々にご出席いただきました。

式典では、主催者である香川県知事、東かがわ市長からの挨拶の後、来賓の方々より祝辞があり、事業経過報告や祝電披露が行われました。

開通式典の後、現地に移動して行われた開通セレモニーは大川中学校音楽部の皆様の演奏ではじまり、大内小学校の児童も参加した「テープカット」、開通記念パレードが行われました。式典終了後は、東かがわ市主催の「餅投げ、ウォーキングスタンプラリー」も行われ、地元を挙げて、開通を応援していただいたことを実感しています。

今回の開通により、バイパスへの交通転換による現国道11号の渋滞緩和・事故減少等が期待されるとともに、生活道路を抜け道と利用する車両の減少により、小中学生の通学時の安全性の向上も期待されます。

この事業は、東讃地方の交通のダブルネットワーク化にも寄与し、豪雨災害などの際にも役立つものと考えられます。

香川河川国道事務所では、早期の全線開通に向けて、事業を進めてまいります。

\*\*\*\*\*

あとがき

平成30年7月豪雨でお亡くなりになられた方々の、ご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方、避難生活を送っていらっしゃる皆様にお見舞い申し上げます。

また、7月号を休刊させていただきましたこと、お詫び申し上げます。

一度は休止のご連絡を差し上げましたが、8月号を配信させていただきましたこと、ご覧いただきましたこと、御礼申し上げます。

\*\*\*\*\*

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

四国地方整備局Facebook

<https://www.facebook.com/shikokuchisei/>

\*\*\*\*\*

自治体担当者様におかれましては、首長ご本人への転送とあわせて、職員の方への周知もお願いいたします。

「いきいき四国通信」に関するご意見、配信中止・配信先変更のご希望等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

国土交通省 四国地方整備局 企画部 「いきいき四国通信」事務局

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>

\*\*\*\*\*